



すたか

苅田町青少年育成町民会議設立15周年記念 特集号

福岡県青少年育成県民会議の配慮のもと、苅田町青少年育成県民の集い苅田大会を開催するにあたり、歓迎のことばを述べた。

青少年育成町民会議は、ほとんどがボランティアでそれぞれの地域・日本・世界を背負って立つ子どもたちが健全で明るく健やかに育っていくようにと設立された。「大人が変われば子どもも変わる」「地域のおじさんおばさん運動」という形で一生懸命力を尽くし



苅田町長兼
苅田町青少年育成町民会議
会長 伊塚 工氏

ている。それぞれの地域の子どもたちが健全で明るく健やかに育ってほしいというのはそこに住んでいる全ての人の願い、希望である。同時に大人達の義務でもある。そうした意味でも苅田町青少年育成町民会議も15周年を迎え、感謝とともにより一

層の飛躍を願う。

また、苅田町ではこれから日本を背負っていく子どもたちの教育は、大変重要であることを認識し、教育委員会を中心に大胆な教育改革を行おうとしている。今年度より、全小中学校で、2学期制を試行している。苅田町が採用している2学期制は、とてもユニークで全国的にも注目されている。そのために私たち大人が責任を持って、明日を担う子どもたちの健全育成のため、一生懸命がんばらなければならない。



福岡県青少年育成県民の集い 11月21日「苅田大会」開催！

祝

十五周年

近年、青少年を取り巻く環境は核家族化、少子化、国際化、情報化、と進行を早めており、青少年の意識行動には、様々な影響を及ぼしている。いじめや不登校、非行の深刻化、薬物乱用の低年齢化、携帯電話やメールなどによる新たな犯罪の多発。幼児虐待などによる青少年を巡る諸問題は複雑多様化し、深刻な社会



福岡県青少年県民会議
副会長 霧我 直氏

問題となっている。こうした問題の背景には、家庭や地域における人間関係の希薄化や社会規範の欠如などが要因の一つにあげられる。青少年問題は「子どもは社会を映す鏡」といわれているが、大人社会を反映したもの。このようなことから県では豊かな心、幅広い視野、それぞれの志をもつたくましい青少年の育成を基本理念として、まず大人が意識を変えよう。うちの家庭教育を作ろう。と12の提案をもとに青少年アンビシャス運動を推進している。

また、福岡県青少年県民会議では、国民会議が提唱する青少年の心を育てるキャンペーン「大人が変われば子どもも変わる」を主要テーマに地域のおじさん、おばさん運動など青少年育成県民運動を展開している。このような運動の成果を上げるためには、家庭や地域社会の役割が重要で不可欠なものとなっている。

苅田町青少年育成町民会議は平成元年にスタートして以来、多くの方々のご支援とご協力をいただき、定着してまいりました。

今回の大会は、苅田中央公民館大ホールに大勢の人々が集い、より大きな感動を皆様に発信しました。



秋山幸二氏 講演

演題『夢を追いかけて』

プロ野球選手時代は数々の偉業を成し遂げ、引退後は野球解説者として活躍。今秋からダイエー・ホークス2軍監督に就任され、多忙な日々を送られている秋山幸二さん。

これまでの野球に懸けた情熱と体力、これからの抱負、野球上達の秘訣などについて熱く語っていただきました。



秋山幸二 プロフィール

1962年4月6日生

熊本県八代郡宮原町出身

八代高校では投手だったが、81年ドラフト外で西武入団後野手に転向。清原和博（巨人）や工藤公康（同）らと西武の黄金時代を築いた。

94年に交換トレードでダイエーに移籍。

2000年のドラフト外初の2000本安打を達成して名球界入りを果たした。同時に2000試合出場をも達成。

日本シリーズはダイエー・西武時代を含め10回出場し、7度の日本一を経験、日本シリーズMVPをダイエー・西武で2度獲得。

87年本塁打王、90年盗塁王、ベストナイン8度、ゴールデングラブ賞11度、ファン投票によるオールスター連続18回出場。通算2189試合で2157安打、303盗塁。趣味は釣り、ゴルフ、油絵、ビデオ鑑賞。福岡在住。



野球を始めたきっかけは小学校3年の時、母が勝手に少年野球チームの入会手続きをして、そのまま小・中は野球部に所属。高校入学時は帰宅部。進学校なので将来プロ野球選手なんて遠い存在。父親が公務員だったので自分も大学に行つて、同じ道を目指そうと思つていた。たまたま友人に誘われて入部。そういう巡り会わせだったかもしれないが、その友人がいなかったら今の秋山幸二はいなかったと。今のプロ野球選手は99%小さいころからの希望がほとんどで自分みたいのはめずらしいのではないかな。



県大会の時、決勝で逆転された甲子園の夢敗れた。その時4番は打っていたが、3年間でホームランを打った記憶があまりない中で広い球場で大きな迫力あるのを一本打った。それをたまたま西武のスカウトが見ていた。高卒後、西武に入団。「4年間やって1軍に上がれなければ後がない、その時はやめて大学にいく、ポジションのサードはやったことがない、追いつくためには、2倍も3倍も練習しないと」と強く思った。やっと一軍のレベルもだんだんわかってきた矢先、アメリカ留学に行った。周りの選手たちの打球の飛ばし方が、半端じゃ



「ウー緊張……。うまく質問できるかな」

ない。この時、どうせ野球をやるならメジャーリーグに通用する選手でなくてはと感じ取った。目標を高く持ち40歳まで選手を続けられたのは、野球留学に行つて、精神的にレベルアップしたことがとても大きかった。この世界は、3年続けて成果を残すと監督・チームメイト・ファンも一目置いて周りが認めてくれるというのがあって、自分の中で意識していた。次の年からチャンスを得て、一年間ホームランを40本3年間で120本以上打ち続けた。ダイエーのトレードについては、やはりアメリカ留学で見た厳しい現実。毎日頑張らないといつクビになってもおかしくない。ためらわず即返答した。「勝ちたい」という希望のもとにチームの建て直しに係つた。99年優勝に導いた。子どもたちの質問については、守備は、数多くノックをうけて、打撃は、素振りが基本。自分のイメージでスイングをつくる。毎日続けることが何より



RKBアナウンサー鬼橋美千子さんがアシスタントとなり息の合った対談を展開。

も大事という答えだった。最後に2軍監督という立場、若い選手を一人でも肉体的、精神的に育て上げ、レギュラーに送り込みたいと。やらなきゃいけないことに目標、夢を持って、続けること、維持していくこと。練習はともつらく大変。でも何よりも一番に野球が好きだったから続けられたと思う。熱い拍手の中講演が終了した。

オープニングセレモニー 荻田中学校ブラスバンド部

演奏曲・「TRUTH」F1グランプリのテーマ曲
・ミッキーマウスマーチ
・ロコモーション



オープニングセレモニーにふさわしく
会場内が引き締まりました。

カメラスケッチ



表彰式

感謝状授与

- ・荻田町少年補導員代表 山田隆さん
- ・荻田工業高校インターアクトクラブ代表 戸成彰子さん



「家庭の日・オアシス運動」作品の最優秀賞県入賞者



受賞おめでとうございます。

アトラクション「エイサー」

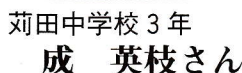
西日本工業大学沖縄県人会



力強い躍動感に魅了されました。

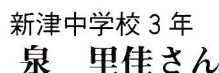


友人の力



しかし、注意したら、その矛
先が自分に向くのではないかと
いう恐れから、誰も止める人は
いませんでした。

大切な人たち



これは以前、私が受け取った電子メールの一部です。私は中学二年の時、人間関係のストレスや、与えられた仕事をうまくこなせないといったジレンマから精神的に行き詰まり、人間不信に陥ったり、身の回りのものを泣きながら壊したりしていました。そんなときに先輩が送って下さったこのメール。悩みつかれていた私は目の前がぱつと明るくなるのを感じました。何をくよくよ悩んでいたのだろうかと、気持ちも楽になり、少しずつ状況も見え始めました。そして今は日々、明るく過ごしています。あの時、このメールを受け取ることができて良かったと心から思っています。

その先輩はその後、私が落ちこむたびに相談に乗ってくれ、「お前は一人でためこみすぎる。」「もつと周りを頼れ。」など、いろいろの助言をしてくれます。そんな時、私は、自分のことを気にかけてくれる人がいることが、とても嬉しく思います。

そんな私を理解し、支えてくれる仲間が、他にもいます。同年年の七人の友達です。今までもどんなに助けられ、励まされたかわかりません。たとえば、中学二年の時、こんな事がありました。生徒会の役員をして、いた私は、総会の原稿を自分なりに一生懸命仕上げ、担当の先生に点検していただきましたが、全て書き直しをするように言われてしまいました。精一杯仕上げた原稿だったので、それはとてもショックでした。私はどうしていいかわからなくなり、うな

私はストレスをためたり、仕事をうまく処理できなくなったりしたときに、次のことに進めなくなっています。人間関係が不器用で、物事をマイナスイメージに考え、すぐに落ちこんでしまうタイプです。友人達はそのような私の性格をよく理解して、時にはあんなかく見守り、時には他のことで笑わせたってくれ、又時には厳しく叱ってくれます。こんな仲間がいてくれたから私は、そのときそのときの困難や悩みを乗り越えることができたのだと思っています。私を支えてくれる先輩や友達に心から感謝しています。卒業して、たとえ進路はそれぞれ違っても、このつながりは絶対に切れることはないでしょう。

皆さんには、大切な人がいますか？皆さんにとって大切な人とはどんな人ですか？私にとって大切な人達は、ありのままの私をあたたく受け入れ、励まし、勇気づけてくれる仲間達です。そんなかけがえのない仲間達の中で私は、背のびすることなく、自然な自分でいることができます。そのときの私は心からの笑顔が絶えず、ずっとこのままでいたいなあと、幸せな気分に浸っていられます。

しかし、これから先、こんなに都合のいいことばかりでないこともわかつています。周囲に頼らず、たとえ一人でも乗り越えていかなければならない場面が出てくるでしょう。だから私はこれから、困難を乗り越える強さ、たくましさを身につけていきたくと思います。今はまだ、大切な人達に支えられてばかりの私ですが、いつの日か「あなたは私にとって大切な人」と言ってもらえるように、まわりとのかかわりを大事にしながら生きていきたいと思います。

少年の声みんなにとどけ！

10月31日 第4回子どもフェスティバル開催

場所: 苅田町総合体育館

主催: 苅田町子ども会育成連合会

目的

子ども達に夢と快い居場所、また、これからの新しい一步の原点であって欲しい!...と頑張った子どもの祭りでした。年々新しい企画を単位子ども会や育成会長、イン・ジュニアリーダーと共に頑張りました。



自分達で作った空き缶のおみこし!...

お母さんの手を借りて竹とんぼ



育成会長の一言

- 最初は大変かと思っていました。してみれば楽しく最後まで出来た事が嬉しかったです。
- 家では使った事のないビデオや16mmの器機が動かせた事が嬉しかったです。
- 子どもへの不安があったが、フェスティバルを通してなくなった。又、やってみるとスムーズに出来て楽しかった。
- 協力し合った事が良かった。
- おばけで子どもとムキになって接し楽しかった。

子ども達の喜ぶ顔が大人の心を豊かにしてくれた様ですね。
子ども達よ! ありがとう!

※伝言・健全育成部より

1月8日(土)「苅田町子ども会カルタ大会」問い合わせ.....苅田町子ども会育成連合会
会長 田口朝子 携帯 090-4589-3200

1月30日(日) 中島 宏先生を呼んで「親子であそぼう!」問い合わせ...町民会議まで
TEL・FAX 434-9838 (直通)

補導環境部会視察研修



には8施設あり、佐世保学園は男子少年院で、医療少年院を除き男女それぞれ別に施設が設けられることになっています。

少年院は矯正施設の一つではありますが、それは教育として行われ、少年を社会生活に適応させるための教科教育、職業補導、生活指導等が行われています。また、入所期間は少年の非行具合に応じて「短期処遇」と「長期処遇」に分けられ、佐世保学園には「学園」の名称からも判るように、収容期間が6ヶ月以内の早期改善の可能性が大きい少年が収容されています。

苅田町青少年育成町民会議補導環境部会は、10月22日長崎県佐世保市にある「佐世保学園」を訪れ、少年院の現状について現地研修を行いました。学園では施設見学の他、副所長より少年院での監護教育や入所者の生活状況について詳しく説明をいただきました。

少年院は法を犯した14歳から20歳未満の者を収容する施設で、全国に53施設あります。「初等」「中等」「特別」「医療」の4種類に分けられ、どの施設に送致するかは家庭裁判所において決定されます。九州・沖縄

佐世保学園では保健体育に力を入れており、当日もグラウンドで一生懸命サッカーボールを追っていました。なかでも特色ある教育として、全国で唯一、波静かな佐世保湾に面した立地を生かし、カッター訓練を週2回行っているとのことでした。

施設見学の途中、私達の呼びかけに対し生徒より明るい元気な返事がありました。周囲の整えられた清潔な環境もあってか、思いも懸けず清新な感想を持ち、研修を終了することができました。

朝の声かけ運動

苅田町青少年育成町民会議では、10月15日と19日にいじめ防止強調月間の一環として、児童・生徒の登校時間を対象に朝の声かけ運動を実施しました。

ちよつとうつむき加減にはにかんで歩いてくる子どもたち「おはようございます」を言うとなんともいえない笑みがニッコツと返ってきます。とても嬉しく和やかな気分になりました。



オアシス人形劇

毎年、子どもたちを楽しませてくれる、オアシス人形劇。6月29日、すみれ幼稚園（園長 和田健一郎）に来てくれました。

子どもたちは、わらべうた、手遊び、絵本、人形劇などなど、次々出てくる出し物に大喜びでした。

『オアシス』のことばの意味も学び、とても楽しい時間を過ごす事ができました。

最後にお礼の気持ちを込めて、子どもたちから歌のプレゼントをしました。



マザーグースのお話会の皆様ご協力ありがとうございました

危険を知ることが、身を守ることに繋がる。



行動範囲がぐっと広がる時期は、大人の目の届かないところで事故や事件に巻き込まれる場合も少なくありません。

大切なのは、子ども自身が何が危険なものなのかを知っておくことと、危険を回避する方法を身につけておくことです。「家の前の道は日中は車が多いから子どもだけで歩くのは危険。ちょっと遠回りになるけれど、車の少ない安全な道を通って遊びに行こうね。」というように、子どもがわかるように、何度も伝えることが大切です。

こうしたやりとりの中で、子どもは危険なものを知り、どう回避するかを学んでいきます。

また、思いがけない危険もあります。例えば、見知らぬ人からイヤなことをされそうになったときには、どうすればよいのかを教えることが大切です。

収穫 晴天の下 充実の稲刈り！ 与原小学校 5年生

田植え
稲刈り
もちつき
地域の方と「米」
について学んで
います。

与原小学校5年生は総合学習の一環として「米」について調べてきました。十一月一日にはその取り組みの一つとして、稲刈りを行いました。六月四日に自分たちで植えた苗が立派に成長し、今度はまた自分たちで収穫しました。応援にきてくれた保護者の人たちと触れ合いながら楽しい時間を過ごす事が出来ました。

田んぼは地域の増田さんに貸していただき、日頃の手入れは地域の堀さん一家のお世話になりました。今年は台風が度重なって襲来しましたが、幸いにも稲は倒れたりしなかったそうです。いつもの年よりも収穫が少なかったようですが、6畝の田から45俵のもち米がとれました。

刈り取った米は農協で精米していただき、パンジーフェスタやPTAのバザーに寄附しました。

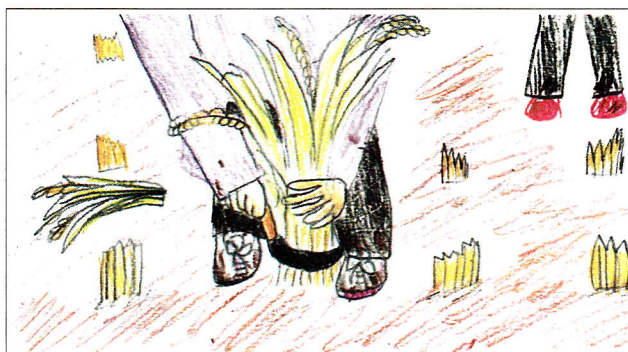
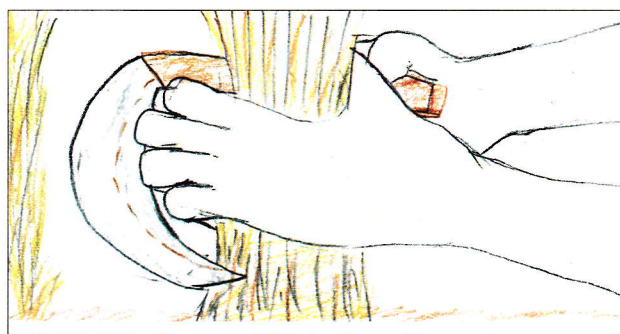
一月には残っているもち米を使ってもちつきを行い、全校生徒に配るように計画しています。

そのときは地域の年配の方々を招いていろいろな教わりながら行う予定です。



2004.10.31

《子どもの感想より》いねかりをしたあとの作文と絵です



今日、いねかりをしました。いねを刈る時の注意を堀のおばちゃんから聞いて田んぼの方へ向かいました。はじめは刈り方がうまくなかったけど、だんだんコツがわかってきて、はじめよりは速くなってきました。

持つほうはなるべく上へんを持って刈った後が少し斜めになるようにします。

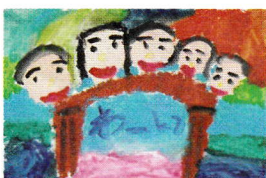
おばちゃんがやっている時は「簡単そうだな」と思っていたけどぜんぜん楽でも簡単でもなかったです。いねを全部刈り終わって持っていく終わって足元を見たら靴がドロまみれで、ズボンもドロがたくさん！頑張った証拠だと思っています。



南原小3年 後藤啓太



白川小2年 百武寛将



片島小1年 出口雄也



南原小2年 末松万由子



荻田小6年 石井里沙

言えたかな 心にひびく ありがとう
 あいさつで やさしいきもち つながるね
 あいさつは 今日をはじめる 第一歩
 ありがとう 言えばつたわる いい気持ち
 おはようの あいさつひとつで 町変わる
 あいさつは 笑顔が出てくる じゅもんだよ
 ありがとう くすぐったいけど いいきもち
 ありがとう いわれたばくも ありがとう
 あいさつで 笑顔があれば うれしいな
 あいさつで 生まれるあなたの その笑顔
 「おはようございます」 朝一番の声の華
 「おはよう」の 一つで変わる 朝の町
 今日また「おはよう」あいさつ だれにでも
 すみません 言える自分に 拍手を送る
 あいさつで くもった心も カラット 晴れる
 おはようで 気持ちを伝える 朝一番
 ありがとう その一言で ころろが和む
 おはようの その一言が うれしいね

与原小5年 木原 卓哉
 荻田小2年 中野 友貴
 片島小4年 服部 良太
 南原小6年 岩田 朋子
 馬場小6年 倉光 玄貴
 荻田小4年 中野 彰恵
 馬場小3年 大神 健吾
 与原小5年 宇並 眞央
 白川小4年 百富 安槻
 荻田中3年 伊藤法理子
 荻田中3年 高須賀有里
 荻田中3年 成 英枝
 荻田中3年 木村 光希
 荻田中3年 有松 貴史
 荻田中3年 中村龍太郎
 荻田中3年 大西 耕博
 荻田中3年 村田 翔平
 荻田中3年 今宮 孝樹

「標語・
 ポスターの部」

「オアシス作品」入選者



新津中3年 飯山成美



新津中2年 宮週潤子



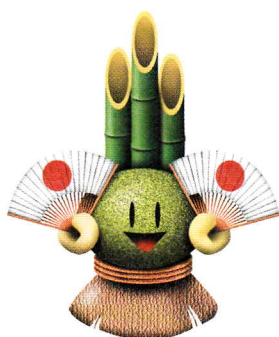
新津中2年 松本純佳



新津中2年 佐伯志穂

「書道の部」

1年生	片島小	南原小	荻田小	南原小	南原小	与原小	与原小	与原小	白川小
	まつもと ななみ 松本 七海	まつだ あやか 松田 彩花	よしだ まい 吉田 舞	いたたに まさたか 板谷 真孝	やまもと みき 山本 美樹	まるた かおり 丸田 香	おおくぼ ひかり 大久保 光	おだ りょうへい 小田 涼平	いもと みゆ 井本 みゆ
2年生	馬場小	荻田小	馬場小	与原小	与原小	与原小	荻田小	荻田小	南原小
	しらishi ゆうか 白石 侑華	ふじた りょうへい 藤田 凌平	うえだ ちひろ 上田 千尋	みよし ひなこ 三吉 雛子	きのした ななみ 木下 ななみ	おおつか ゆうき 大塚 悠貴	しいの てつや 椎野 徹也	もどむら なおき 本村 尚喜	ないとう ゆま 内藤 由真
3年生	馬場小	馬場小	南原小	荻田小	荻田小	与原小	馬場小	南原小	荻田小
	おかもと まりな 岡本 真里奈	おだ なつき 小田 夏希	うえし みず あかね 上清水 茜	わたべ かえで 渡部 楓	たなか みゆ 田中 美有	うえだ まりな 上田 真里那	はまだ すみれ 濱田 すみれ	まつだ かずき 松田 和樹	よねだ さやか 米田 沙弥香
4年生	南原小	荻田小	荻田小	荻田小	与原小	荻田小	南原小	馬場小	与原小
	ちよまる ゆみ 千代丸 祐実	とみた ゆうき 富田 雄紀	かわた ゆい 川田 唯	すどう あい 須藤 愛	くらち れな 倉地 玲那	みやざき ゆうだい 宮崎 裕大	ふくはら たくや 福原 琢也	やすだ たけし 安田 孟史	ふじわら まこ 藤原 真子
5年生	馬場小	馬場小	馬場小	南原小	与原小	与原小	与原小	与原小	荻田小
	ひろせ のりこ 廣瀬 理子	かわづ あやか 河津 彩香	おだ ゆかり 小田 由佳理	くわはら ゆき 桑原 由貴	ますだ ゆり 増田 有莉	ささはら あすか 笹原 明日加	おおまつ ゆきほ 大松 幸歩	おおつぼ ふみか 大坪 史果	ながお まさこ 長尾 理子
6年生	荻田小	与原小	与原小	与原小	馬場小	馬場小	片島小	南原小	白川小
	いずみ ひろゆき 泉 弘幸	なかむら ゆき 中村 有希	しおや か 塩谷 香奈	にしだ きょうこ 西田 恭子	やすだ 暖美 安田 暖美	ひろせ あきこ 廣瀬 晶子	いのうえ しおり 井上 詩織	むかい ゆうた 向井 優太	おおくま としひろ 大隈 稔弘
中学生	荻田中2年	荻田中3年	荻田中1年	荻田中3年	荻田中1年	荻田中3年	荻田中2年	荻田中2年	荻田中1年
	よしだ かすみ 吉田 香純	おだ あおい 小田 葵	もどむら ちさと 本村 千聖	ひろもと こ 廣本 かな子	いわた あやか 岩谷 綾香	たかとり えみ 高取 絵美	こやね みき 小柳 美希	さかもと なほこ 坂本 奈穂子	あらまき ちはる 荒巻 千春



編集・発行

荻田町青少年育成町民会議
 すこやか編集委員会

093・434・9838

早いもので一年が終わろうとしています。振り返ると一月の大雪、夏の猛暑、何度もやってくる台風などさまざまなことがありました。「地球温暖化」「異常気象」が毎年のことになっている気がします。

荻田町内で気になることは「不審者」「変質者」の出没の多さです。今年は六月くらいまでは少なかったのですが、最近また増えてきているようです。

奈良県でのいたましい事件もありました。安心して子どもが過ごせる環境をつくらうとしていくことが大切だと思います。また、「自分の身は自分で守る」「危険を回避する」ような方法を子どもに身に付けさせることも必要になってきていることを感じています。

(編集委員 梅本 宏)

編集後記